廣田氏

プログラムです。参加企業と に立ったインターンシップ・ を育成していく長期的な展望

> るのかを肌で感じることで、 があり、どんな力が求められ

治39年)に開いた私塾なので おた中村春二が1906年(明

すが、その設立に賛助の手を

大学に戻ってからの「学び」に

してこの取り組みをどう捉え

部と文学部の3年生2人を受

廣田

当社は今夏、経済学

高めてほしいと思います。 関するモチベーションをぜひ

また、PBLなどを通じて、

頭取・今村繁三と三菱4代目

でよき理解者だった今村銀行 差し伸べたのは、中村の親友 ので、まさに産学協働で人材

にご意見いただき実現したも め多くの企業にご協力ならび BT)」は三菱グループをはじ

最終日に研修の成果を社員の

一緒に仕事をしていただき、

亀嶋

成蹊学園は、創立時

前で発表していただきます。

ってきました。学園の起源は、 から産業界と密接な関係を持

大正自由教育の旗手」と称さ

ビジネスの現場にどんな課題

付けさせること。特に正解の し、課題解決力や専門性を身に 生に徹底的な学びの場を提供 や世の中の仕組みを変えるイ

の提供です。その意味で、社会

ンエデュケーション」です。イ ンターネットを使うことで世

そこに大学の存在意義もあり

ます。これまでの一方的な講義

をし続ける努力を惜しまなけ のです。このように大学が進化

れば、社会から評価される教育

人の学び直しは大切なテーマ。

ノベーションのプラットフォ

ムになることです。次に、学

重要です。

地域貢献の取り組みとしても

界中の大学の講義を受けられ

主体の教育から、双方向型のア

クティブラーニングを提供す

の質を実現できると思います。

るようになり、単位の取得を認

アには、学習意欲の高い人が多本学が立地する吉祥寺エリ

ない問題に自ら答えを出して

学力や発信力、多様な価値観を

に、グローバルに対応できる語 -ツの修得が重要です。 さら いくために、幅広いリベラルア

幅広い

世代の ″知″

の交流拠

規授業に参加する社会人やシ ニア世代も少なくありません。

産学協働による人材育成

り組む機会も有意義です。

カデミズムの立場から、社会

や企業の課題解決を図るため

く、公開講座や聴講生として正

点として大学が機能すること

めた「丸の内ビジネス研修(M

具体的な課題を提示しながら け入れます。実習では学生に

の提言を大いにしてほしいと

本学が今年度から始

## 産学協働による 人材育成と大学教育の質の保証

重点目標(中期ビジョン)を定めて新たな挑戦を開始している。 の質の保証」をテーマに開催した座談会の内容を紹介する。 改革に関する講演会」と、「産学協働による人材育成と大学教育 ション」と題してシリーズで掲載。今回は第2弾として、「大学 本特集では、同学園の取り組みを「成蹊教育、第二世紀へのミッ の向上や社会が求める人材の育成を目指し、本年4月から中期 昨年、創立100周年を迎えた成蹊学園。

さらなる教育の質



# 問われる大学の存在意義

●ファシリテータ-

成蹊学園 常務理事(産学連携担当)

隆

申氏

●出席者

成蹊大学 学長

いることは何ですか。 産業界が大学教育 に期待して まず、米スタンフォー 21世紀社会において、 ょう。 ることなども求められるでし に「学び直し」の機会を提供す 理解する能力の養成や、社会人

会的な使命の一つは、生涯教育 亀嶋 これからの大学の社

にように、日本でも大学が社会

大がシリコンバレーを育ん

世界中で活躍できるタフな若者を

廣田

校した実業専門学校は、産業界

だと考えていました。彼ら3

人の熱意が生んだ、生きた学問

を尊重する自由な教育が必要 経験を踏まえて、日本にも個性 英ケンブリッジ大学での留学

成蹊大学の新カリキュラム

に有為な人材の育成を目的と

した学校でした。

実務学校を設立。その後に開

支え続け、中村は-

2年に

鳴した2人は物心両面で彼を

中村の教育理念に共

を志しました。岩崎と今村も

教える場から学び合う場へ変革を

のあり方をどのように展望し て、中西さんは今後の大学教育 世界の潮流を踏まえ

虫西 世界の潮流は「オープ

> れています。 がどこでも学べる環境が整う める例も出てきました。誰も につれ、大学の存在意義が問わ 重要な視点は、ネットで講義

得て、吉祥寺の街の課題解決に は自治体や地域社会の協力を も重要だと思います。本学で

取り組むプロジェクト型授業

(PBL)なども実施していま

通う大学の教員に質問したり、 ないということです。自分が を聞くだけでは学びが完結し

を高める仕組みが不可欠です。 学生と討論したりするなど、学 んだことの発信力や相互理解 せています。 びへの動機付けを促していく



コーポレート担当役員補佐(人事担当)三菱商事 執行役員

廣

田

康人氏

氏

成蹊学園 アドバイザリー

中西寬子氏

中西氏

る場への変革が求められます。 亀嶋 来年度から始める新

学のサマー 材育成プログラムや、海外の大 ティブラーニングによる授業 に加え、企業との連携による人 キュラムでは、ゼミやアク ースクールへの派遣

小川氏

学独自の教育・人材育成に取

組んでいきます。

世界はグローバルな

密接なつながりを生かして、本

績を踏まえ、産業界や地域との要なのです。今後も伝統と実

を学生に自覚させ、主体的な学 自分が今後取り組むべき課題 ることの難しい体験を通じて、 多く経験できる機会を充実さ など、外の世界とのつながりを 教室の中では得

大学改革に関する講演

**漢**会

教育改革で自ら考え発信する人材を育成

した。亀嶋学長の講演要旨は次おける教育改革」について紹介の亀嶋庸一学長が「成蹊大学に されている現在、大学に求 社会が激しい変化にさら

提起。それを受けて、成蹊大学に求めるもの」について課題を官の板東久美子氏が「大学改革基調講演では、文部科学審議

力にあふれたグローバルな こうした問題意識に基づき、 人材を育成することです。

を「プレ・ターム(始動学期)」 と位置付け、大学教育を受 特色は、入学直後の半年間 新カリキュラムの大きな

められているのは、課題を カリキュラムをスタート 発見・解決する意欲と行動 本学は2014年度から新

際社会に対応できるたくま

勢への転換を図ります。 の夏休みに豪モナシュ大学 ル」や、本学の伝統である個 へ留学する「サマースクー 心を持ち、主体的に学ぶ姿 プレ・ターム後は、1年次

らの考えを発信する力と国した「ゼミ必修制」など、自性尊重・少人数教育を強化

けるための準備期間を設け での知識習得型の学習方法 から、幅広い分野に興味・関 たことです。ここで高校ま

学部横断型の「成蹊国際コ (MBT)」など、特別選抜コ 材」育成プログラムや、産学 ラム「丸の内ビジネス研修 連携による人材育成プログ -スを実施していきます。

リキュラムを提供。さらに、しさを身に付ける多彩なカ ース」による「グロー

発信する人材の育成に取り 育改革を実践し、自ら考え 本学は今後も継続的な教

### 学生の主体性引き出す機会を提供 亀嶋氏 実社会と学生をつなぐ役割果たす

数による個性尊重の人格教育 心の触れ合いを重視する少人

若者の意欲引き出す

げるタフネスを持ち、世界に打

しつつ、やりたいことをやり遂

って出るための基礎力を備え

思いやり、感謝の心などは堅持

込み教育を排し、教師と生徒の

中村は当時の画一的な詰め

精神を最大限に引き出す成蹊

を教え、生徒の能力や自発的な

の教育に脈々と受け継がれて 学園の特色は、現在の成蹊大学

中西

を提供してくれると確信して 生や社会の要望に応えるべく、 これからも様々な学びの機会 付けてほしい。成蹊大学は学

最近の若者は内向き 欲も資質もある学生は多くい だからこそ、今回の新力

間」、そこに集う幅広い世代の 境にも対応できる強さを身に とを要求していいし、大学を積 学生は大学にもっと多くのこ 園の魅力の源泉だと思います。 多様な「人間」-間」をかけて培われた伝統や実 極的に活用してどのような環 績、吉祥寺という土地にワンキ つの間(あいだ)」こそ、成蹊学 ャンパスの恵まれた教育「空 -これら「3

数人で始まったボランティア・ すれば、それに応えるだけの意 留学派遣」は募集初日に定員を 今夏試行する「サマースクー 分野で活動を展開しています。 団体に成長し、国内外の幅広 を超える学内最大規模の学生 えません。例えば、数年前に十 や積極性に欠けているとは思 はるかに超える応募者が殺到 し、MBTも約3人の枠に1 大学が魅力的な機会を提供 ハ以上の応募がありました。 -クルは、現在では40 生が実社会と接する様々な学 キャンパスのある武蔵野市か 本日はありがとうございま, びの機会を提供していきます。 らご支援いただきながら、学

00年を超える「時 だとの声もありますが、主体性

始しました。実社会と学生を ともに具体的な取り組みを開 強化を掲げ、組織体制の整備と 生かし、本学の中期重点目標の 結びつきの深い成蹊の伝統を つに産学連携・地域連携の 歴史的にも産業界と

た人材の育成を大いに期待

役割を担うべく、産業界そして トウエーとしての

を強化する体制づくりも必要 る機会を設けるなど、産学連携 当者が日常的に意見交換でき は意欲的な改革であり、成果を でしょう。日本的な責任感や 大学の教職員と企業の実務担 上げることを期待しています

SEIKEI成蹊学園

学には大胆な変革が求められ

たい。 そのためにも、日本の大 創出の可能性を高めていき できるタフな若者を育て、世界 産学協働でグローバルに活躍 大競争時代に突入しています。

を変えるようなイノベー

ショ

「成蹊教育第二世紀へのミッション」の詳細は、

http://www.seikei.ac.jp/ ※第2回教育鼎談特集ページは8月下旬公開予定です。

「教養ある豊かな人間性」で、時代をひらく